

研究課題名	脳腫瘍の分子遺伝学的解析と病理学的解析に基づいた臨床像の解明
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴
研究期間	2022年 7月 7日(許可日) ~ 2031年 3月 31日
対象者	2000年1月から 2030年3月の間に、広島大学病院脳神経外科で脳腫瘍に対する治療を受けられた患者さん。
意義・目的	脳腫瘍は従来、世界保健機構（WHO）の病理学的分類法により分類され、その治療法が決定されてきましたが、2021年に発表されたWHO脳腫瘍分類により、病理学的分類よりも分子遺伝学的解析の結果を重視して診断されることとなりました。この新しい分類に基づいた脳腫瘍の臨床像についてはまだ解明されていない点が多く、これから明らかにされていくことになります。今回、既存の手術摘出標本に対して様々な分子遺伝学的解析を行うことで、2021年のWHO脳腫瘍分類に基づいた診断を再度検討し、その臨床像を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査および、既存の手術摘出ホルマリン固定パラフィン包埋標本と凍結標本に対して、様々な分子遺伝学的解析（腫瘍のタンパク発現・遺伝子発現の解析）を行います カルテから使用する内容は年齢、性別、身長、体重、症状、既往歴、内服歴、検体検査項目（血液、髄液、尿など）、手術方法、手術内容、手術合併症、化学療法の内容、放射線治療の内容、治療中の合併症や副反応、病理診断、遺伝子解析結果、入院期間、MRIやCTなどの画像検査、生存期間、無増悪生存期間、臨床転帰です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません・外部への試料情報の提供はありません。)
利用または提供を開始する予定日	2022年 7月 7日(許可日)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学 大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはございませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはございません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5227 広島大学大学院医系科学研究科 脳神経外科学 准教授 山崎 文之
研究機関	広島大学